

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Risk of another basal cell carcinoma developing after treatment of a basal cell carcinoma	
	論文の日本語タイトル	1つの BCC の治療後に別の BCC が発生するリスクについて	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCCQ19-4	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	8425966	
	医中誌 ID		
	雑誌名	J Am Acad Dermatol	
	雑誌 ID		
	巻	28	
	号	1	
	ページ	22-8	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1993	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Marghoob A	Perelmann Department of Dermatology, New York University School of Medicine, and Oncology Section
	その他著者 1	Kopf AW	
	その他著者 2	Bart RS	
	その他著者 3	Louis Sanfippo	
	その他著者 4	Silverman M	
	その他著者 5	Peter Lee	
	その他著者 6	Elie Levy	
	その他著者 7	Vossaert KA	
	その他著者 8	Sandhya Yadav	
	その他著者 9	Michelle Abadir	
	その他著者 10		

一次研究の 8 項目	目的	1 つの BCC の治療後に別の BCC が発生するリスクについて検証。	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究	
	セッティング	大学病院	
	対象者	組織学的に BCC と診断された 260 例の白色人種	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 2 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 15 ）	
	介入（要因曝露）		
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	BCC の初回発生	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2	BCC の二次発生	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
レビューワーコメント	主な結果	260 例中 137 例について、最初の BCC 発生から平均 38.3 ヶ月で新しい BCC が発生した。1 個以上の二次的新規発生 BCC は 5 年間の累積頻度で 45.2%であった。これは 5 年再発率よりも有意に高値であり、さらに全米の一般人における 5 %という頻度と比しても有意に高かった。	
	結論	BCC の既往がある患者では、次の新たな BCC が発生する頻度が高く長期間のフォローアップが必要である。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	神谷秀喜	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 多数症例の追跡調査であり、東洋人の実際の頻度と比較してもかなりの高値である。	